

第39回

グローバル感染症研究セミナー



2025年12月10日
15:00-16:00

参加登録はこちら

<https://forms.gle/gs2kDZcpoz5RHqtL7>



演者：氣駕 恒太郎 先生

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 治療薬研究開発部 室長

ハイブリッド開催

(Teams、グローバル感染症研究センター棟 1F多目的室)

抗菌薬の代替？JIHSのファージ療法の進捗

研究の方向抗菌薬耐性菌の拡大を背景に、世界各国でファージを用いた個別治療が行われ、その治療効果が認識されつつある。患者由来菌に対して最適なファージを選定・投与するこの「個別ファージ療法」は、オーダーメイド型の感染症治療であり、既に多数の治療成功例が報告されている。一方、標準化を重視する「ファージ創薬」も活発化しており、複数の製剤が臨床試験段階に進んでいる。本講演では、両者のストラテジーを概説し、私たちが国内で進めている個別ファージ療法の取り組みと、展開しつつある創薬研究の方向性を紹介する。

【経歴】

2005年 東京大学 工学部 化学生命工学科 卒業
2007年 東京大学 大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 修士課程修了
2011年 東京大学 大学院医学系研究科 病因・病理学専攻 博士課程修了
2011年 Max-Planck-Institute of Immunobiology and Epigenetics
博士研究員
2014年 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター
感染制御系 細菌学分野 特任研究員・特任助教
2016年 自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 細菌学部門
講師・准教授・客員教授
2022年 国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター 室長
2025年 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 治療薬開発研究部 室長
現在に至る

世話人 三室 仁美

(グローバル感染症研究センター 教授)

セミナー問合せ先

大分大学グローバル感染症研究センター共同利用・共同研究係 (5444)

TEL 097 (586) 5444 E-mail glocal@oita-u.ac.jp